

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
18	環境学習推進事業(環境フェスティバル)	みどり環境部 環境保全課

事務事業の概要	事業の目的		根拠法令等
	市民、事業者と行政が協働して環境啓発イベントを実施することにより、市民の環境意識を深め、自主的な環境保全活動への参加を促進し、地域振興を図ることを目的とする。		<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業の概要		
	<p>【日時・場所】 5月最終日曜日 午前10時～午後3時 西東京いこいの森公園(ボール広場、セミナールーム)</p> <p>【テーマ】毎年テーマを掲げてテーマに沿った展示等を行う。 ・令和元年度:～私たちがつくる、SDGsで持続可能な世界～ ・平成30年度:～未来につながる、私のエコ宣言!～</p> <p>【出展内容】全18ブース ◎環境保全課:5ブース(本部・パネル展示・スーパーボールすくい・食品ロススタンプラリー・アニマルライド) ◎ごみ減量推進課:1ブース(資源物戸別収集PR) ◎事業者:12ブース ・西東京市自転車組合田無班:リサイクル自転車の抽選販売 ・西東京市地域猫の会:猫の譲渡会 ・田無緑化組合:寄せ植え講習 等</p>		
事業開始時期	平成19年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 (一部委託)

事業費データ	項目		単位	28年度 (決算額)	29年度 (決算額)	30年度 (決算見込み額)	令和元年度 (当初予算額)	
	内訳	事業費(A)		千円	904	900	1,260	1,401
内訳		主要な経費: 委託料	753		720	960	1,242	
		その他: 需用費他	151		180	300	159	
財源内訳		国庫支出金・都支出金						
		地方債						
		その他 ()						
一般財源			904		900	1,260	1,401	
所要人員(B)		人	0.29	0.29	0.29	0.33		
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	2,163	2,222	2,242	2,609		
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	3,067	3,122	3,502	4,010		
単位当たりコスト (E)=(D)/ (来場者数(約))		千円	1.0	0.9	0.9	—		

評価指標	指標名		単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度	
	①	来場者数(約)	実績値	人	3,000	3,500	3,800	/
	②	出展事業者数(庁外)	実績値	団体	9	8	9	
<p>《指標とした数値変化に対する要因分析など》 来場者数は年々、増加している。令和元年度は①来場者数:約4,600人、②出展事業者数(庁外)12団体であった。</p>								

事業環境等	他団体のサービス水準との比較 (平均値との比較、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	環境レンジャーなどのキャラクターを用い、環境フェスティバルを行っている自治体もある。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	同日、同会場にてアースデーが開催されている。

【一次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	普通	目的をある程度達成している。他の形態に変更できる。
実施主体の妥当性	適正	民間における同種の事業もあるが、市としても環境学習の推進に取り組む必要がある。
事業(補助)の対象	適正	広く西東京市民を対象としており、適正と考える。
事業(補助)の内容	課題有	本来目的である環境学習に結びつきにくい面も見受けられる。
受益者負担	—	—
事業コスト	高い	内容の充実に伴い、事業コストは増大している。
業務負担	重い	現在の職員体制では、現状規模の事業実施は事務負担が重い。
一次評価	評価の判断理由及び現状の課題など	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	環境啓発イベントによって、楽しく環境意識を深め、自主的な環境保全活動への参加を促進することは必要と考える。来場者数は毎年、増加してきており、出展事業者数も令和元年度は12団体となった。スタンプラリーを実施し、より多くのブースで環境について学ぶ機会を作っているが、スタンプの押印が目的となり、環境学習という本来目的に結びつきにくい面も見受けられることから、環境フェスティバルのあり方を見直し、効率的・効果的な手法での実施を検討したい。	

【二次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	普通	環境意識の醸成に資する事業である。
実施主体の妥当性	課題有	市が主体となって現状規模の環境イベントを実施する必要性は低いと考える。
事業(補助)の対象	適切	広く西東京市民を対象としており、適正と考える。
事業(補助)の内容	課題有	より効果的な環境意識の醸成につながるよう、改善・見直しを図る必要がある。
受益者負担	—	—
事業コスト	高い	委託料が増加傾向にあり、事業規模を見直す必要がある。
業務負担	重い	実施内容の見直しと併せて、職員の業務負担についても軽減を図る必要がある。
二次評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は、参加者も増加しており、市民の環境意識の醸成に一定の効果を果たしていることから、引き続き、同様の取組を継続し、自主的な環境保全活動への参加を促進していく必要性はあるものと考えられる。一方で、民間主体でも同種の事業が展開されていること、また、事業費が増加傾向にあり、イベント規模の拡大に伴い事務負担も増えてきていることを踏まえると、本事業の目的の達成に向けては、実施場所や内容等を改めて検証し、より効率的で効果的な事業となるよう再構築する必要がある。	

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--